

# 会 議 録

|                                                    |                                                                                                                                                                                      |      |       |
|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 会 議 録                                              | 令和 8 年度山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議（第 1 回）                                                                                                                                                      |      |       |
| 開催日時                                               | 令和 8 年 8 月 2 4 日（月） 1 4 時から 1 6 時まで                                                                                                                                                  |      |       |
| 開催場所                                               | 山陽小野田市民館 1 ・ 2 会議室                                                                                                                                                                   |      |       |
| 出 席 者                                              | 佐藤智充会長、林令子副会長、石原克宏委員、伊藤武委員、井上恵子委員、上村篤子委員、上村誉恵委員、草田和枝委員、永富恵子委員、平中政明委員、堀田慎一郎委員、山本浩子委員、吉村恵利香委員                                                                                          |      |       |
| 欠 席 者                                              | 伊藤紀委員、上林雅樹委員、江本尋美委員、屋宮ミナ子委員、金弘智委員、坂井久美子委員、長谷亮佑委員                                                                                                                                     | 委員数  | 2 0 人 |
|                                                    |                                                                                                                                                                                      | 出席者数 | 1 3 人 |
|                                                    |                                                                                                                                                                                      | 欠席者数 | 7 人   |
| 事 務 局                                              | （福祉部高齢福祉課）<br>福祉部長 石田恵子<br>福祉部次長兼高齢福祉課長 田尾忠久<br>高齢福祉課技監兼地域包括支援センター所長 荒川智美<br>高齢福祉課長補佐 藤永一徳<br>高齢福祉課主査兼介護保険係長 別府奈緒美<br>地域包括支援センター所長補佐 岡手優子<br>高齢福祉係長 光永正志<br>高齢福祉係 若松美里<br>介護保険係 小路架帆 |      |       |
| 会議要旨                                               |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| ＜開会＞                                               |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| 1 福祉部長あいさつ                                         |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| 2 議事（審議事項）                                         |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| (1) 第 1 0 期山陽小野田市高齢者福祉計画の策定について<br>事務局が資料 1 について説明 |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| ○資料 1 の主な意見・質疑応答                                   |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| 【委員】                                               |                                                                                                                                                                                      |      |       |
| 計画策定にあたり、パブリックコメントを実施するとあるが、前回は意見が出たのか。            |                                                                                                                                                                                      |      |       |

【事務局】

前回 9 期計画策定の際には意見は出なかった。

【委員】

介護現場の生産性を向上していかないといけないと思うが、市として具体的に対応策を考えているか。

【事務局】

事業所のデジタル化であったり、職員の負担軽減のための介護ロボットの導入等で介護従事者の負担が軽減できるのではないかと考えている。ただ、市単独で実施することが難しいため、国や県の補助金の紹介などを行っている。

(2) 調査結果の説明について

① 在宅介護実態調査（資料 2）について、事務局が説明

○資料 2 の主な意見・質疑応答

【委員】

在宅介護の実態として、老々介護がある。また、介護する人はされる人の事を考えているし、その結果介護サービスを受けていない家庭も結構ある。その結果、介護者が倒れるケースもある。介護される方だけでなく、介護する人にももっと目を向けて欲しい。

【委員】

介護される方に目が行きがちであるが、介護する人も本当に大変だと思う。ショートステイ等も利用しながらでもいいので、介護者のほうを休ませたり、相談体制もないと続かない。

【委員】

地域住民と行政をつなげる役割をしているが、高齢の方は「自分はまだ大丈夫」という方が多い。みんなで軽い運動する場への参加への声かけを行っているが、来られない方もいる。市でも広報等でもっと広めていただきたい。また、介護する人もされる人もお互いを認め合いながら暮らしていけることを伝えていけるような場があればいいと思う。

【委員】

いずれの介護度でも介護される本人にサービス利用の希望がないというのが高い割合になる。これは、介護者に負担がかかっているところの現れだと

思われるので、本人さんが行く気になるように、まだ御自分がきちんと判断できない状況で、どう働きかけるかが1番肝心と思う。また、医療と介護の連携について、ショートステイ等でも利用者に持病があったり、体調が心配な時は受けられないケースがあるので、レスパイト入院を活用できたり、医療と介護の現場で分担が出来てくればいいと思う。

② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（資料3）について、事務局が説明

○資料3の主な意見・質疑応答

【委員】

移動手段について、車社会であるからこそ、必要であると思う。認知症に関して、身近に歩いて行ける範囲で家から出る場所があればいい。老人クラブや民生委員も減ってきている中で、市や民生委員だけでなく周囲が異常をすぐ見つけられる体制の構築と、相談の場が周知されれば早期に見つけることができると思う。

【委員】

成年後見制度について、市民の方が活用するには敷居が高いところがある。今後認知症の方や身寄りのない高齢者が増えていく中で大事な制度なので、分かり易い周知を検討していただきたい。

【委員】

自宅で最期を迎えたいという方がほぼ半数おられるが、実際にそのようになった方がどれぐらいおられるか把握しているか。

【事務局】

そこまでは把握していない。

③ 介護事業所・従事者に関するアンケート（資料4）及び欠席委員からの御意見（資料5）について、事務局が説明

○資料4の主な意見・質疑応答

【委員】

5年前や10年前と比較して介護人材は増えているのか。減っているのか。

【事務局】

前回調査と比較すると、傾向としては今既に不足している訳ではないが、減少していると感じられる事業所は少し多くなっている。

**【委員】**

今後、５～１０年後や２０４０年に向けて、高齢者数は横ばい又は増加すると考えられるが、介護業界で就労する若い人材がいなくなったときに、介護の提供体制は大丈夫なのか。また、生産性向上によって対応できると見込んでいるのか。

**【事務局】**

本市の状況としては、６５歳以上の人口は既にピークを迎えており、今後令和１２年から令和１７年頃にかけて７５歳以上の人口もピークを迎える。一方で、最も介護のサービスの利用が多い８５歳以上というのは、令和３０年頃ぐらいまでは増加が見込まれる状況である。そのような中で、今の介護事業所数が過剰になるというのは、まだ大丈夫であると思う。

介護サービスの提供については、介護保険制度が複雑化している。小規模事業所の運営や事務の負担が大きくなっており、市としても課題と認識している。

**【委員】**

今後、ニーズがあるのに、供給側が足りなくて、そのサービスを受けたいのに、それを提供してくれる介護事業所がないという状況にはならないのか。

**【事務局】**

介護サービスの提供に関しては、今現在受けたいのに、受けられないという声は聞いていない。しかし、介護サービスを提供するためのプラン作成を担うケアマネジャーの事業所については、ここ最近市内で少し減少傾向にある。

○資料５について事務局の説明

**【事務局】**

資料４・１０ページ、問１４に関する質問について、やはり先ほどからの御説明しているとおり、事務負担に関しては非常に大きな課題と考えているが、介護保険の制度、法の枠組みの中で実施するものになるため、本市だけ独自で書類の軽減や、簡素化というのは難しいと考えている。

一方で、まず事業所間の情報交換や、顔の見える関係づくりというところでは、ケアマネジャー連絡会や多職種連携研修会などを開催しており、事業所からも相談しやすく感じていただけるような電話や窓口対応を心がけている。

また、介護職員の採用に関しては、市でも、小・中学校を対象にした介護の仕事のイメージアップにつながるような出前講座等を行っている。また、商工労働課とハローワークによる医療と福祉の面接会も実施しているので、こういった取組を行いながら、介護の仕事に対するイメージアップと若い方が介護の仕事に興味が出るよう支援を続けていきたいと考えている。

○資料5の主な意見・質疑応答

なし

3 その他

○事務局より、今後の会議の開催予定について説明

<閉会>